

山岸文庫蔵『和歌秋風抄(別本)』解題

西澤美仁
久保貴子

本学山岸文庫には『和歌秋風抄』と題された写本二冊(山岸文庫請求番号「三六〇三」番)が蔵されている。所収歌は全て勅撰八代集からの抜粋と考えられる比較的整った撰集である。

同名ないしほとんど同名の『秋風和歌集』並びに『秋風抄』については、安井久善氏に御研究と御論考とがあるが、『校
本 秋風和歌集とその研究』一九五一、三。武蔵野書院、及び『藤原光俊の研究』一九七三、十一。笠間書院)、内容の
異なる『和歌秋風抄』については、多くを述べられてはいない。ただ宮内庁書陵部蔵桂宮旧蔵一本として知られる『秋風
和歌集』及び真観法師すなわち右大弁光俊の撰と目されている『(類従本)秋風抄』との関わりなどに注目されている。そ
の内容は全く別でありながらも、その書名の共通から安井氏は『秋風和歌集』の「別本」と判断された。とするならば、
真観のいわゆる反御子左派の活動の一端といった問題を含むかもしれないし、中世和歌史上軽視できない問題をも孕む可
能性もあろう。

よって本稿では、この山岸文庫蔵『和歌秋風抄(別本)』を簡単な解題を記して紹介することとしたい。

I・書誌

写本二冊。袋綴。

①表紙

鳥の子色地に茶の格子縞の紙表紙。左肩に白楮紙・黒色双辺題簽（一八・一糎×三・五糎）を貼付、「和歌秋風抄 上（下）」と墨書。

②寸法

上・下巻共、タテ二七・六糎×ヨコ一九・七糎。

③印記

上・下巻共、表紙右下に「山岸文庫」の長方形朱印。下巻・前遊紙右下に同印。

④料紙

斐紙。見返料紙共紙。

上巻——前遊紙・ナシ。後遊紙・一。扉題・一。目録題・一。墨付九三丁（22丁ウ・白紙）。

下巻——前遊紙・一。後遊紙・一。墨付一二〇丁（38丁オ・56丁ウ・57丁ウ・白紙）。

一面十行二十五字。和歌は、基本的に一行書き。

⑤内題

上巻・扉左肩に、「秋風和歌抄」（原本の表紙題簽にあった外題を虫損に至るまで忠実に模写したものか）。下巻・ナシ。また、巻第一から第十までそれぞれ、「和歌秋風抄巻第一（〜四）」「和歌秋風抄第五（〜十）」と記し、続いてその巻に収集した歌題を列記している。

⑥識語

下巻・120丁ウに墨筆の、

「和歌秋風抄 上下二冊 以安井氏書写畢、石崎氏写焉／

昭和二十六年八月五日記之

七月末写了也／

宗尊

親王撰集云々

岸廼舎」

と書入れがあり、左に続けて、

「上巻 六二〇首

下巻 十四本十首 計一四六二首

また、

「源承口傳云／ 真觀東に侍りし始に集めたる哥号八代抄、名字有子細後改千載集中々書王御上洛／之後追披露之」

「代集／八代抄／中務卿親王撰トアリ」

と同筆で書入れあり。

⑦その他

一、主に上巻収録歌の歌頭付近に、細字で出典勅撰集の略号を記す。(例えば、古今集——「古」・後撰集——「後」等。)

二、序・跋の類なし。

三、所々に朱筆による書入れ・墨筆によるミセケチ等あり。

虫損・湿汚の痕等ほとんどなし。

四、巻第一から第十までのそれぞれに収められた歌数は以下の通り。()内の数字は、山岸文庫蔵本に仮に付した歌

番号を示す。

卷第一	——	一三三首	(1 ~ 133)
卷第二	——	一五三首	(134 ~ 286)
卷第三	——	一〇一首	(287 ~ 387)
卷第四	——	二二九首	(388 ~ 616)
第五	——	二八四首	(617 ~ 900)
第六	——	一四〇首	(901 ~ 1040)
第七	——	六七首	(1041 ~ 1107)
第八	——	一一一首	(1108 ~ 1228)
第九	——	四三首	(1229 ~ 1271)
第十	——	一八三首	(1272 ~ 1459)
上卷・総歌数	——	六一六首	
下卷・総歌数	——	八四三首	

Ⅱ・解題

安井氏は、前述した『校本 秋風和歌集とその研究』（第五章 別本 和歌秋風抄について）で、別に和歌秋風抄と題する全く内容を異にする一本（架蔵）が存する。として、

架蔵本は、上下二冊、大体江戸初期の写本であり、所収一四六二首全十巻の類題和歌集にして、各巻の巻頭には

「和歌秋風抄第〇」と明記し、つぎにその巻に収めた題を記してある。所収歌の内、相当数に集付が付されてあるが、詳細に調査すると一四六二首の全所収歌が皆勅撰八代集より抜粹されたものであり、従つて作者名の記載の如きも不統一のまゝである。(中略)

成立時期に関しては、序も跋もなく、又集中の作者の官位は、八代集よりの抜粹であるから論拠となし得ず、詳らかにし難い。

と述べられている。作者名の記載の不統一には西行和歌が例示され、千載集所収歌については円位法師、新古今歌は、西行法師、と出典の表記に従つたままである、とされ、更に冒頭八首が「それ〴〵八代集の巻頭歌をならべている」ことも指摘、歌集としての自立性の稀薄を印象づけられた。

しかし、その一方で、「代集」がその打聞の項であげる

八代抄 中務卿親王撰

と「源承和歌口伝」に見える

真観東に侍りし始にあつめたる歌 号八代抄名字
有子細後改之

とに着目、「八代抄」が確実に八代集からの抜粹とは言い切れない憾みを認めながらも

ともかく書名より想像して、一応この和歌秋風抄は八代抄と類似の内容を有するものではなからうかと考へられる。

とされた。そして「源承和歌口伝」の「名字有子細後改之」に言及して

その原名八代抄なる撰集は、表向宗尊親王撰となつてはゐるが、実際には右大弁光俊の撰にかゝるものであるから、秋風集の撰者光俊が自己の弟子にあたる宗尊親王撰と銘打つ撰集に、その改名の仔細は不詳としても、「和歌

「秋風抄」といふ改称を与へ得る公算は多分にあると考へられる。

と述べられて、

代集に云ふ「八代抄、中務卿親王撰」なる撰集が、架蔵本和歌秋風抄そのものではなからうかと思はれる。

と結論づけられた。また、同氏『藤原光俊の研究』（第二章 光俊と和歌）でも「光俊乃至反御子左派」との関連は「書名から連想される」「単なる憶測」にすぎないと慎重を期されながらも、

しかし、この撰集の内容を検討すると、これが南北朝期以降に編撰された可能性は少なく、鎌倉期の成立とすれば、（中略）反御子左派との関連を想定せざるを得ない。そうなれば、「八代抄」という名称が、何らかの理由で変更された作品がこれであり、実質的に光俊の撰であるとする余地も、幾分かは存在するように考えられるのである。

とまとめられている。

「代集」の「打聞」の項には、藤原公任撰の「金玉集」「深窓秘抄」をわずかな例外として、勅撰集を母体とする秀歌撰は含まれておらず、従って、「八代抄」も定家撰「定家八代抄」より俊成撰「三五代集」「八雲御抄」にその名の見える打聞。「千載和歌集」の前身）により類似した内容の撰集であった可能性が高いと思われる。

しかし、それであって猶、「和歌秋風抄」という書名が「光俊乃至反御子左派」に由来する可能性は残ると思われる。

ところで、本書の特長の一つに、主に四季歌においてであるが、季と雑との二元的な組み合わせ、とでもいふべき配列の工夫がある。

前述のように、冒頭八首は八代集の巻頭歌をそのまま順に並べるといふ、あまりに安直な配列ではあったが、二つめの

歌題「霞」からはかなり独自の配列方針を採っている。全容については付表を設けたので参照ねがいたい。霞題のみ例示すると、最初の六首（通し番号12〜17）は巻一・春歌上（金葉集は春歌）から選び、後半の八首（通し番号18〜25）は恋・雑（・旅・釈教）といった季歌以外から選んできている。

周知のように、すでに古今集にして、春歌の中にも雑歌的述懐やら恋歌的要素やらが導入されており、季歌の純粹性などというものは本来なかったのかもしれないし、八代集の基準も一様でないのかもしれない。それでも、八代集の基準で季とするものと、恋雑とするものとを前後半に二分して対比的に配列するには、それなりの八代集への意識があったからに相違ないであろう。

あるいは、恋部や雑部に春恋なり雑春なりを設けず、八代集が春恋なり雑春なりで扱う作についても春へ配して対比することで、季題を詠みこなすための臨機応変を配慮しようとしたのかもしれない。

ともあれ、この特長は全十巻中六巻を季題歌が占めるという一種異様な季題への片寄りと背中合わせの関係にある。

また「定家八代抄」が出典にも出典での扱いにもそれ程のこだわりを示さず、一冊の歌集としての秩序に配慮するのに対し、本書は通読するための文学作品、というよりは、和歌は用例に終始して、歌題索引ふうの実用書の趣を呈している。

安井氏の御研究ののち、等閑に付されかねなかった理由は、ひとり伝本が稀観に属したからばかりではなかったのかもしれない。

猶、安井氏『校本 秋風和歌集とその研究』には

仄聞するところによれば、大体架蔵本と同系統の一本が現存する由であるが、管見に及んでゐない。

とあり、同『藤原光俊の研究』には

「別本和歌秋風抄」(現山岸徳平博士蔵本)

とある。後者の記述からは安井氏蔵本が山岸博士に譲渡されたかにも読み取れるが、本書はその識語から察するに、安井氏蔵本の臨模本であり、「大体江戸初期の写本」という安井氏蔵本それ自体ではない。

すると、幻の山岸文庫本が他にも一本あるのかもしれないし、当時の「現山岸徳平博士蔵本」とは別に、安井氏「仄聞」の「同系統の一本」の現存が確認される日が来るかもしれない。

本来ならば、それらの調査結果を待って報告すべきとも思われたが、後藤重郎氏『『定家八代抄』の基礎的研究(一)』(『皇学館論叢』25・3。一九九二、六)などに触発される所も多く、ひとまず「光俊八代抄」の可能性の残る本書を基礎的研究の段階で紹介することの意義を考えた次第である。

付記

本稿は、上野英子専任講師の御協力の下、石澤勝子氏、南二淑氏、渡邊道子氏との共同研究に基くものである。

—— 卷第一 春上 ——

立春 付初春 霞

鶯 若菜

残雪 梅

柳 早蕨

櫻

立春 付初春

一 古今 春歌上 一
 二 後撰 春上 一
 三 拾遺 春 一
 四 後拾遺 春上 一
 五 金葉 春部 一
 六 詞花 春 一
 七 千載 春歌上 一
 八 新古今 春歌上 一
 九 古今 春歌上 二
 一〇 後撰 春上 八

二 金葉 春部 五
 霞
 三 後拾遺 春上 三
 三 後拾遺 春上 六
 四 後拾遺 春上 九
 五 金葉 春部 一〇
 六 千載 春歌上 二〇
 七 新古今 春歌上 三三
 八 拾遺 恋一 六五
 九 拾遺 恋三 八七
 一〇 拾遺 雜上 四八
 一一 後拾遺 羈旅 五四
 一二 後拾遺 雜六 二八〇
 一三 詞花 雜上 二七三
 一四 千載 恋歌一 六九
 一五 千載 雜歌上 一〇五
 鶯

六 古今 春歌上 四
 七 古今 春歌上 一五
 八 古今 春歌下 二〇
 九 古今 春歌上 二〇
 一〇 古今 神あそびのうた 一〇八一
 一一 古今 春歌上 三三
 一二 古今 春歌上 三三
 一三 後撰 春上 三三
 一四 後撰 春上 三四
 一五 後撰 春下 三三
 一六 後撰 春下 二〇一
 一七 後拾遺 春 一六
 一八 後拾遺 春上 一六
 一九 後拾遺 春上 一七
 二〇 金葉 春部 二三
 二一 金葉 春部 二三
 二二 千載 春歌上 六
 二三 千載 春歌上 七
 二四 新古今 春歌上 三〇
 二五 千載 雜歌中 一〇六一
 二六 拾遺 雜春 一〇五

留 拾遺 雜下 五三
 四七 拾遺 雜春 一〇四
 四八 拾遺 雜春 一〇九
 四九 後拾遺 雜五 一五〇
 五〇 金葉 雜部上 五七
 五一 千載 雜歌上 六三
 若菜
 五二 詞花 春 六
 五三 拾遺 恋二 六九
 五四 新古今 賀歌 七一
 殘雪
 五五 後撰 春上 二
 五六 千載 春歌上 四
 五七 拾遺 雜春 一〇五
 梅
 五八 古今 春歌上 三

柳	七 新古今	七 拾遺	七 拾遺	七 拾遺	七 古今	六 千載	六 金葉	六 金葉	六 後拾遺	六 後拾遺	六 後拾遺	六 後拾遺	六 後拾遺	六 拾遺	五 後撰	五 古今
	神祇歌	雜春	雜春	雜春	賀歌	春部	春部	春部	春上	春上	春上	春上	春上	春	春上	春歌上
	一八五	二〇三	二〇二	二〇五	三五	六	三	二七	三三	三	五	五	五	八	六	四
八 拾遺	八 拾遺	七 拾遺	六 後撰	五 古今	四 古今	三 古今	櫻		二 千載	一 金葉	早藤		九 新古今	八 新古今	七 拾撰	五 後撰
春	春	春	春下	春歌上	春歌下	春歌上			春歌上	春部			雜歌中	雜歌上	雜春	春上
四	四	五	二五	六	六	七	四		七	七			二七	四九	一〇三	四
二六 千載	二七 千載	二六 詞花	二五 詞花	二四 詞花	二三 金葉	二二 金葉	二〇 金葉	一九 後拾遺	一八 後拾遺	一七 後拾遺	一六 後拾遺	一五 後拾遺	一四 後拾遺	一三 後拾遺	一二 拾遺	一一 拾遺
春歌上	春歌上	春	春	春	春部	春部	春部	春下	春上	春上	春上	春上	春上	春上	春	春
七	五	三	三	三	六	五	四	三	二	一	一	一	一	九	八	三
二七 千載	二六 千載	二五 千載	二四 後拾遺	二三 拾遺	二三 新古今	二二 新古今	二一 新古今	二〇 新古今	一九 新古今	一八 新古今	一七 新古今	一六 新古今	一五 千載	一四 千載	一三 千載	一二 千載
雜歌中	雜歌中	雜歌中	雜一	雜春	春歌下	春歌下	春歌下	春歌下	春歌下	春歌下	春歌上	春歌上	春歌下	春歌下	春歌下	春歌下
二〇七	二〇五	二〇三	二〇二	二〇一	二〇〇	一九九	一九八	一九七	一九六	一九五	一九四	一九三	一九二	一九一	一九〇	八八

二六	千載	雜歌中	二〇六	一五	古今	春歌下	八四	一五	拾遺	春	六	一三	千載	雜歌中	二〇六
二五	千載	雜歌中	二〇七	一六	古今	春歌下	一五	一五	拾遺	春	七	一四	千載	雜歌中	二〇七
二四	新古今	衷傷歌	七三	一七	古今	春歌下	一六	一六	拾遺	春	五	一三	新古今	雜歌上	一四四
二三	新古今	雜歌上	一四四	一八	古今	春歌下	一四	一七	後拾遺	春上	六	一七	新古今	雜歌上	一四四
二二	新古今	雜歌上	一四五	一九	春上	春上	二	一八	後拾遺	春上	三	一八	新古今	雜歌上	一四五
二一	新古今	雜歌中	一六七	二〇	春中	春中	四	一九	後拾遺	春上	二〇	一九	新古今	雜歌中	一六七
——卷第二春下——															
花	桃			二一	後撰	春中	五	二〇	後拾遺	春下	一三	二〇	千載	春歌下	一八〇
梨	春月			二二	後撰	春中	七	二一	後拾遺	春下	一四	二一	千載	春歌下	一八一
春雨	春駒			二三	後撰	春中	七	二二	後拾遺	春下	一五	二二	千載	春歌下	一八二
飯鷹	雉			二四	後撰	春下	五	二三	後拾遺	春下	三	二三	千載	春歌下	一八三
喚子鳥	苗代付春田			二五	後撰	春下	五	二四	後拾遺	春部	三	二四	千載	春歌下	一八四
董菜	躑躅			二六	後撰	春下	一〇	二五	金葉	春部	五	二五	千載	春歌下	一八五
牡若	藤			二七	後撰	春下	一三	二六	金葉	〔異本歌〕	六	二六	千載	春歌下	一八六
款冬	春雜哥			二八	拾遺	春	四	二七	金葉	春部	五	二七	千載	春歌下	一八七
暮春				二九	拾遺	春	四	二八	金葉	春部	六	二八	新古今	春歌上	一八八
花				三〇	拾遺	春	五	二九	詞花	春	六	二九	新古今	春歌上	一八九
古今	春歌上			三一	拾遺	春	五	三〇	詞花	春	六	三〇	新古今	春歌下	一九〇
古今	春歌上			三二	拾遺	春	五	三一	詞花	春	七	三一	新古今	春歌下	一九一

二〇	後拾遺	雑六	二九二	三九	新古今	釈教歌	一九四	三九	詞花	春	三	二五	金葉	春部	七四
二〇	拾遺	雑恋	二二二	三六	新古今	雑歌中	一六六	三六	後拾遺	春上	四	二〇	拾遺	春	四
二〇	古今	哀傷歌	八五	三七	新古今	雑歌上	一四六	三七	春駒			二〇	付苗代		
二〇	拾遺	雑春	一〇三	三六	新古今	雑歌上	一四六	三六	新古今	雑歌上	一四七	二〇	新古今	雑歌上	一四七
二〇	拾遺	雑春	一〇三	三五	新古今	雑歌上	一四六	三五	新古今	雑歌上	一四七	二〇	新古今	雑歌上	一四七
二〇	拾遺	雑春	一〇三	三四	新古今	哀傷歌	七五	三四	新古今	春歌上	八四	二〇	新古今	雑歌上	一四七
二〇	後撰	恋六	一〇四	三三	千載	釈教歌	二四六	三三	千載	春歌上	三	二〇	拾遺	春	二
二〇	後撰	哀傷歌	三九五	三三	千載	釈教歌	二三元	三三	春雨			二〇	拾遺	春	二
二〇	後撰	哀傷歌	三九五	三二	千載	釈教歌	二三四	三二	千載	春歌上	三	二〇	拾遺	春	二
二〇	後撰	雑二	二五六	三〇	千載	雑歌下雑	二八〇	三〇	新古今	恋歌二	二二六	二〇	新古今	春歌上	三
二〇	後撰	雑一	一〇七	二九	千載	雑歌中	一〇七	二九	新古今	雑歌上	一四七	二〇	新古今	春歌上	三
一九	古今	恋歌二	五九	二八	千載	雑歌中	一〇九	二八	春雨			二〇	新古今	春歌上	三
一九	新古今	春歌下	一五	二七	千載	雑歌中	一〇六	二七	梨			二〇	詞花	春	四
一九	新古今	春歌下	一五	二六	千載	雑歌中	一〇六	二六	新古今	雑歌上	一四三	二〇	詞花	春	三
一九	新古今	春歌下	一四	二五	千載	雑歌中	一〇五	二五	後拾遺	春上	七	二〇	後拾遺	春上	七
一九	新古今	春歌下	一三	二四	詞花	雑上	一〇八	二四	後拾遺	雑四	一〇五	二〇	後拾遺	春	五
一九	新古今	春歌下	一三	二三	詞花	雑上	一〇七	二三	後拾遺	春下	一〇	二〇	後拾遺	春下	一〇
一九	新古今	春歌下	一三	二二	詞花	雑上	一〇七	二二	後拾遺	春下	一〇	二〇	後拾遺	春下	一〇
一九	新古今	春歌下	一三	二一	後拾遺	雑六	二九	二一	後拾遺	雑四	一〇五	二〇	後拾遺	雑買	二八五
一九	新古今	春歌下	一三	二〇	後拾遺	雑六	二九	二〇	後拾遺	雑四	一〇五	二〇	後拾遺	雑買	二八五
一九	新古今	春歌下	一三	一九	後拾遺	雑六	二九	一九	後拾遺	雑四	一〇五	二〇	後拾遺	雑買	二八五

三三七	新古今	夏歌	二七三
三六八	後撰	夏	二二三
三六九	後拾遺	雜六	二六二
三五〇	千載	恋歌三	八三
三五二	新古今	恋歌一	二〇七
三五三	新古今	夏歌	一八
三五五	千載	夏歌	二〇六
三五六	後撰	恋六	二〇九
三五七	拾遺	雜春	二〇七九
三五八	後撰	夏	一九三
三五九	詞花	夏	一〇

三五九	後撰	夏	二〇七
三六〇	後拾遺	夏	二〇〇
三六一	金葉	夏部	一四
三六二	新古今	夏歌	二五
三六三	新古今	夏歌	二〇
三六四	後拾遺	夏	三三
三六五	新古今	秋歌上	二八
三六六	新古今	離別歌	八八
三六七	新古今	夏歌	二五
三六八	新古今	夏歌	二六

三六九	後拾遺	夏歌	三三
三七〇	詞花	夏歌	七
三七一	千載	夏歌	三四
三七二	千載	夏歌	三三
三七三	新古今	夏歌	二五
三七四	新古今	夏歌	二六
三七五	新古今	夏歌	二八〇
三七六	金葉	夏部	一四
三七七	後撰	雜一	二〇八
三七八	後撰	恋五	九三
三七九	拾遺	哀傷	二四〇
三八〇	後撰	夏	一七〇
三八一	拾遺	夏	二三
三八二	拾遺	恋三	八八

三八三	拾遺	恋三	八五
三八四	後撰	夏	二五
三八五	後撰	夏	二六
三八六	千載	夏歌	三四
三八七	拾遺	賀	二九
三八八	古今	秋歌上	二七
三八九	初秋	萩	
三九〇	初秋	七夕	
三九一	秋風	萩	
三九二	女郎花	草花	
三九三	小鷹狩	薄	
三九四	荊壹	蘭	
三九五	萩妻	葛	
三九六	忍草	槿	
三九七	初秋	萩	

五三	五三	鹿	五三	五〇	鳴	五九	鴉	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二
後拾遺	拾遺		新古今	千載	千載	金葉		新古今	新古今	新古今	新古今	新古今	後撰	後撰
秋上	秋		恋歌三	秋歌下	秋歌下	秋部		秋歌下	秋歌下	秋歌上	秋歌下	秋下	秋下	秋下
二六八	一九一		二七九	三七七	三七七	二四二		四四五	四四五	四七	四三	三七七	四三五	三六三
五三	五〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七
新古今	新古今	新古今	千載	千載	千載	千載	千載	千載	千載	詞花	金葉	金葉	後拾遺	後拾遺
秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋歌下	秋	秋部	秋部	秋下	秋上
四四二	四三九	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一
五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五
千載	千載	後拾遺	後撰	後撰	後撰	新古今	千載	千載	金葉	後拾遺	拾遺	新古今	新古今	新古今
秋歌上	秋歌上	秋上	秋中	秋下	秋下	羈旅歌	雜歌中	雜歌中	夏部	雜二	恋四	恋五	秋歌上	秋歌下
二六四	二六三	三八	二九二	四四	四四	九〇	二五三	二五一	一四	九三	八〇	九五	三六	四九
五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七
拾遺	拾遺	後撰	後撰	後撰	後撰	後撰	後撰	後撰	後撰	後撰	後撰	古今	新古今	新古今
恋二	恋三	恋三	恋二	雜四	恋二	離別戀旅	雜四	恋六	恋五	恋二	恋一	哀傷歌	秋歌上	秋歌下
七三〇	八三四	七三〇	六〇九	二八一	六四九	一三五	二六三	一〇八	八九四	七七〇	六六	六六	三五六	四六九

五七	新古今	哀傷歌	七六	六四	詞花	雜上	三八	六四	後拾遺	秋下	三八	六四	新古今	秋歌上	四〇
五六	新古今	哀傷歌	七五	六三	拾遺	哀傷歌	二八	六三	後拾遺	秋上	二六	六三	新古今	秋歌上	三五
五五	新古今	哀傷歌	七五	六二	拾遺	恋二	七	六二	後拾遺	秋上	二五	六二	新古今	秋歌上	三六
五四	新古今	雜歌下	一八五	六一	古今	賀歌	三一	六一	後拾遺	秋上	二五	六一	新古今	秋歌上	三六
五三	新古今	雜歌下	一八七	六〇	新古今	秋歌下	四九	六〇	後拾遺	秋上	二五	六〇	新古今	秋歌上	三六
五二	新古今	雜歌中	一六八	六〇	新古今	秋歌下	四九	六〇	後拾遺	秋上	二五	六〇	新古今	秋歌上	三六
五一	新古今	雜歌中	一六六	六〇	千載	秋歌下	三四	六〇	後拾遺	秋上	二五	六〇	新古今	秋歌上	三六
五〇	新古今	雜歌中	一六四	六〇	詞花	秋	一一	六〇	後拾遺	秋歌上	二五	六〇	新古今	秋歌上	三六
五八	新古今	雜歌上	一五一	六〇	拾遺	秋	一一	六〇	後拾遺	秋歌上	二五	六〇	新古今	秋歌上	三六
五七	千載	戀歌二	七八	霧				月	古今	秋歌上	一九	六〇	千載	秋歌上	二九
五六	千載	雜歌中	一一	六〇	新古今	賀歌	七七	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五五	千載	羈旅歌	五三	六〇	新古今	羈旅歌	九	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五四	千載	羈旅歌	五四	六〇	新古今	哀傷歌	八	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五三	詞花	恋下	三五	六〇	新古今	哀傷歌	八	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五二	金葉	雜部下	六三	六〇	新古今	哀傷歌	七	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五一	後拾遺	雜三	一〇六	六〇	新古今	哀傷歌	七	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五〇	後拾遺	雜二	九四	五九	新古今	哀傷歌	七	六〇	千載	秋歌上	二九	六〇	千載	秋歌上	二九
五七	後拾遺	恋二	六三	六五	新古今	哀傷歌	七七	六五	新古今	羈旅歌	九〇	六五	金葉	秋部	一七
				六六	拾遺	雜秋	一九	六六	拾遺	雜秋	一九	六六	金葉	秋部	一五
				卷第五	秋下			卷第五	秋下			卷第五	秋下		
				虫	蓋			虫	蓋			虫	蓋		
				月	在明			月	在明			月	在明		
				秋夕	秋田			秋夕	秋田			秋夕	秋田		
				擣衣	駒追			擣衣	駒追			擣衣	駒追		
				菊	紅葉			菊	紅葉			菊	紅葉		
				秋雜	暮秋			秋雜	暮秋			秋雜	暮秋		
				六五	金葉	秋部	一七	六五	金葉	秋部	一七	六五	金葉	秋部	一七
				六七	金葉	秋部	一四	六七	金葉	秋部	一四	六七	金葉	秋部	一四
				六八	金葉	秋部	一五	六八	金葉	秋部	一五	六八	金葉	秋部	一五
				六九	金葉	秋部	二〇	六九	金葉	秋部	二〇	六九	金葉	秋部	二〇
				六〇	金葉	秋部	二三	六〇	金葉	秋部	二三	六〇	金葉	秋部	二三
				六一	金葉	秋部	二七	六一	金葉	秋部	二七	六一	金葉	秋部	二七
				六二	金葉	秋部	二七	六二	金葉	秋部	二七	六二	金葉	秋部	二七
				六三	金葉	秋部	二七	六三	金葉	秋部	二七	六三	金葉	秋部	二七
				六四	金葉	秋部	二七	六四	金葉	秋部	二七	六四	金葉	秋部	二七
				六五	金葉	秋部	二七	六五	金葉	秋部	二七	六五	金葉	秋部	二七

六四	新古今	秋歌上	四〇三	六三	後拾	雜一	八四〇	六二	詞花	雜上	二九六	七一	千載	雜歌上	九七
六五	新古今	秋歌上	四〇六	六四	後拾	雜一	八四六	六三	詞花	雜上	三〇一	七二	千載	雜歌上	九九
六六	新古今	秋歌上	四〇七	六五	後拾	雜一	八五〇	六四	詞花	雜上	三〇三	七三	千載	雜歌上	一〇七
六七	新古今	秋歌上	四〇九	六六	後拾	雜一	八六〇	六五	詞花	雜上	三〇五	七四	千載	雜歌上	一〇七
六八	新古今	秋歌上	四一〇	六七	後拾	雜一	八六三	六六	詞花	雜上	三〇九	七五	千載	雜歌上	一〇七
六九	新古今	秋歌下	四一六	六八	後拾	雜一	八六五	六七	詞花	雜上	三一四	七六	千載	雜歌上	一〇七
七〇	古今	雜歌上	四七九	六九	後拾遺	雜一	八六八	六八	詞花	雜下	三六八	七七	千載	雜歌上	一〇九
七一	古今	雜歌上	四八七	七〇	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七二	古今	雜歌上	四八七	七一	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七三	古今	雜歌上	四八七	七二	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七四	古今	雜歌上	四八七	七三	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七五	古今	雜歌上	四八七	七四	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七六	古今	雜歌上	四八七	七五	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七七	古今	雜歌上	四八七	七六	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七八	古今	雜歌上	四八七	七七	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
七九	古今	雜歌上	四八七	七八	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八〇	古今	雜歌上	四八七	七九	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八一	古今	雜歌上	四八七	八〇	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八二	古今	雜歌上	四八七	八一	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八三	古今	雜歌上	四八七	八二	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八四	古今	雜歌上	四八七	八三	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八五	古今	雜歌上	四八七	八四	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八六	古今	雜歌上	四八七	八五	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八七	古今	雜歌上	四八七	八六	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八八	古今	雜歌上	四八七	八七	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
八九	古今	雜歌上	四八七	八八	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九〇	古今	雜歌上	四八七	八九	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九一	古今	雜歌上	四八七	九〇	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九二	古今	雜歌上	四八七	九一	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九三	古今	雜歌上	四八七	九二	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九四	古今	雜歌上	四八七	九三	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九五	古今	雜歌上	四八七	九四	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九六	古今	雜歌上	四八七	九五	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九七	古今	雜歌上	四八七	九六	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九八	古今	雜歌上	四八七	九七	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
九九	古今	雜歌上	四八七	九八	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九
一〇〇	古今	雜歌上	四八七	九九	後拾遺	雜一	八六八	六九	詞花	雜下	三六八	七八	千載	雜歌上	一〇九

八五	後撰	秋下	三九	八五	千載	秋歌下	三七	八五	拾遺	哀傷	一三五	八五	後撰	冬	四六
八七	後撰	秋下	四五	八七	新古今	秋歌下	五五	八七	新古今	戀歌四	一三四	八七	後撰	冬	四六
八八	後撰	秋下	四八	八八	新古今	秋歌下	五〇	八八	新古今	雜歌上	一五二	八八	後撰	冬	三三
八九	拾遺	秋	一八	八九	新古今	秋歌下	五一	八九	新古今	雜歌上	一五四	八九	拾遺	冬	三三
九〇	拾遺	秋	二七	九〇	新古今	秋歌下	五三	九〇	新古今	雜歌下	一七〇	九〇	拾遺	冬	三三
九一	拾遺	秋	三六	九一	新古今	秋歌下	五七	九一	新古今	雜歌下	一七六	九一	拾遺	冬	三三
九二	拾遺	秋	四六	九二	新古今	秋歌下	六一	九二	新古今	雜歌下	一八二	九二	拾遺	冬	三四
九三	後拾遺	秋下	五三	九三	古今	秋歌下	三三	九三	古今	秋歌下	三五	九三	後撰	冬	三四
九四	後拾遺	秋下	六〇	九四	古今	秋歌下	三一	九四	古今	秋歌下	三二	九四	後撰	冬	三四
九五	金葉	秋部	二四	九五	古今	哀傷歌	八四	九五	古今	秋歌下	五三	九五	後撰	冬	四三
九六	金葉	秋部	三五	九六	後撰	戀三	二九	九六	後撰	秋歌下	五九	九六	後撰	冬	四三
九七	金葉	秋部	二五	九七	後撰	戀三	八四	九七	後撰	秋歌下	五九	九七	後撰	冬	四三
九八	詞花	秋	一三	九八	拾遺	雜三	二五	九八	拾遺	時雨	四〇	九八	後撰	冬	四二
九九	千載	秋歌下	三五	九九	後拾遺	雜秋	二六	九九	後拾遺	霜	四〇	九九	後撰	冬	四二
一〇〇	千載	秋歌下	三六	一〇〇	古今	秋歌上	一七	一〇〇	古今	雪	四二	一〇〇	後撰	冬	四二
一〇一	千載	秋歌下	三六	一〇一	古今	秋歌下	三三	一〇一	古今	水鳥	四二	一〇一	後撰	冬	四二
一〇二	千載	秋歌下	三六	一〇二	古今	秋歌下	三三	一〇二	古今	網代	四二	一〇二	後撰	冬	四二
一〇三	千載	秋歌下	三六	一〇三	古今	秋歌下	三三	一〇三	古今	神樂	四二	一〇三	後撰	冬	四二
一〇四	千載	秋歌下	三六	一〇四	古今	秋歌下	三三	一〇四	古今	炭竈	四二	一〇四	後撰	冬	四二
一〇五	千載	秋歌下	三六	一〇五	古今	秋歌下	三三	一〇五	古今	埋火	四二	一〇五	後撰	冬	四二
一〇六	千載	秋歌下	三六	一〇六	古今	秋歌下	三三	一〇六	古今	寒梅	四二	一〇六	後撰	冬	四二
一〇七	千載	秋歌下	三六	一〇七	古今	秋歌下	三三	一〇七	古今	冬雜哥	四二	一〇七	後撰	冬	四二
一〇八	千載	秋歌下	三六	一〇八	古今	秋歌下	三三	一〇八	古今	歲暮	四二	一〇八	後撰	冬	四二
一〇九	千載	秋歌下	三六	一〇九	古今	秋歌下	三三	一〇九	古今		四二	一〇九	後撰	冬	四二
一一〇	千載	秋歌下	三六	一一〇	古今	秋歌下	三三	一一〇	古今		四二	一一〇	後撰	冬	四二
一一一	千載	秋歌下	三六	一一一	古今	秋歌下	三三	一一一	古今		四二	一一一	後撰	冬	四二
一一二	千載	秋歌下	三六	一一二	古今	秋歌下	三三	一一二	古今		四二	一一二	後撰	冬	四二
一一三	千載	秋歌下	三六	一一三	古今	秋歌下	三三	一一三	古今		四二	一一三	後撰	冬	四二
一一四	千載	秋歌下	三六	一一四	古今	秋歌下	三三	一一四	古今		四二	一一四	後撰	冬	四二
一一五	千載	秋歌下	三六	一一五	古今	秋歌下	三三	一一五	古今		四二	一一五	後撰	冬	四二
一一六	千載	秋歌下	三六	一一六	古今	秋歌下	三三	一一六	古今		四二	一一六	後撰	冬	四二
一一七	千載	秋歌下	三六	一一七	古今	秋歌下	三三	一一七	古今		四二	一一七	後撰	冬	四二
一一八	千載	秋歌下	三六	一一八	古今	秋歌下	三三	一一八	古今		四二	一一八	後撰	冬	四二
一一九	千載	秋歌下	三六	一一九	古今	秋歌下	三三	一一九	古今		四二	一一九	後撰	冬	四二
一二〇	千載	秋歌下	三六	一二〇	古今	秋歌下	三三	一二〇	古今		四二	一二〇	後撰	冬	四二

九三	九三	霜	九三	九六	九七	九五	九四	九三	九三	九二	落葉	九〇	九九	九八	九七
後拾遺	拾遺		新古今	新古今	詞花	千載	詞花	後拾遺	後拾遺	拾遺		千載	千載	千載	拾遺
冬	冬		冬歌	恋歌二	雜下	冬歌	冬	冬	冬	冬		羈旅歌	羈旅歌	羈旅歌	別
三九	三七		五五	一〇九五	三九	四二	一四	三六	三七	三三		五九	五六	五六	三〇
九四	九五	霜	九四	九四	九四	九三	雪	九六	九七	九六	霰	九四	九三	九三	九三
後撰	後撰		古今	古今	古今	古今		新古今	千載	金葉		新古今	千載	千載	千載
冬	冬		冬歌	冬歌	冬歌	冬歌		冬歌	冬歌	冬部		冬歌	冬歌	冬歌	冬歌
四六	四六		三三	三七	三三	三七		六五	四四	二七	三九	六五	三九	三九	三九
九五	九六	千鳥	九六	九六	九五	九五	冬月	九五	九五	九五	九五	九五	九四	九四	九四
新古今	新古今		新古今	新古今	新古今	千載		千載	千載	千載	千載	千載	後拾遺	後撰	後撰
冬歌	冬歌		冬歌	冬歌	冬歌	冬歌		冬歌	冬歌	冬歌	冬歌	冬歌	冬	冬	冬
六七	六七		六六	六六	六六	四三		四二	四五	四五	四五	四五	四六	五三	四七
			新古今	新古今	新古今	新古今		新古今	新古今	千載	千載	金葉	金葉	拾遺	拾遺
			冬歌	冬歌	冬歌	冬歌		雜歌下	羈旅歌	羈旅歌	羈旅歌	賀部	賀部	雜秋	雜秋
			六九	六〇	六〇	五九		一六九	九六	二四八	五三	三九	二五	二五	六〇

九二	後拾遺	冬	三八	九二	後撰	冬	四八八	九二	後撰	冬	四八八	九二	後撰	冬	四八八
九三	後拾遺	冬	三九	九三	拾遺	冬	二三四	九三	拾遺	冬	二三四	九三	拾遺	冬	二三四
九四	千載	冬歌	四五	九四	後拾遺	冬	四八	九四	後拾遺	冬	四八	九四	後拾遺	冬	四八
九五	新古今	冬歌	四五	九五	後拾遺	冬	四〇	九五	後拾遺	冬	四〇	九五	後拾遺	冬	四〇
九六	新古今	冬歌	六四七	九六	後拾遺	冬	四〇	九六	後拾遺	冬	四〇	九六	後拾遺	冬	四〇
九七	新古今	冬歌	六四七	九七	新古今	冬歌	六四七	九七	新古今	冬歌	六四七	九七	新古今	冬歌	六四七
九八	新古今	冬歌	六四八	九八	新古今	冬歌	六四八	九八	新古今	冬歌	六四八	九八	新古今	冬歌	六四八
九九	後拾遺	雜三	一〇二四	九九	後拾遺	雜三	一〇二四	九九	後拾遺	雜三	一〇二四	九九	後拾遺	雜三	一〇二四
一〇〇	千載	羈旅歌	五三六	一〇〇	千載	羈旅歌	五三六	一〇〇	千載	羈旅歌	五三六	一〇〇	千載	羈旅歌	五三六
氷															
水鳥															
一〇一	後撰	冬	四八三	一〇一	後撰	冬	四八三	一〇一	後撰	冬	四八三	一〇一	後撰	冬	四八三
九九	後撰	冬	四七	九九	後撰	冬	四七	九九	後撰	冬	四七	九九	後撰	冬	四七
一〇〇	金葉	冬部	二九	一〇〇	金葉	冬部	二九	一〇〇	金葉	冬部	二九	一〇〇	金葉	冬部	二九
一〇一	千載	冬歌	四三	一〇一	千載	冬歌	四三	一〇一	千載	冬歌	四三	一〇一	千載	冬歌	四三
網代															
一〇二	拾遺	冬	二六	一〇二	拾遺	冬	二六	一〇二	拾遺	冬	二六	一〇二	拾遺	冬	二六
一〇三	詞花	冬	一五	一〇三	詞花	冬	一五	一〇三	詞花	冬	一五	一〇三	詞花	冬	一五
一〇四	拾遺	恋三	八三	一〇四	拾遺	恋三	八三	一〇四	拾遺	恋三	八三	一〇四	拾遺	恋三	八三
一〇五	新古今	雜歌中	一六五	一〇五	新古今	雜歌中	一六五	一〇五	新古今	雜歌中	一六五	一〇五	新古今	雜歌中	一六五
神楽															
一〇六	金葉	冬部	二五	一〇六	金葉	冬部	二五	一〇六	金葉	冬部	二五	一〇六	金葉	冬部	二五
鷹狩															
一〇七	後拾遺	冬	三三	一〇七	後拾遺	冬	三三	一〇七	後拾遺	冬	三三	一〇七	後拾遺	冬	三三
一〇八	後拾遺	冬	三四	一〇八	後拾遺	冬	三四	一〇八	後拾遺	冬	三四	一〇八	後拾遺	冬	三四
一〇九	後拾遺	冬	三五	一〇九	後拾遺	冬	三五	一〇九	後拾遺	冬	三五	一〇九	後拾遺	冬	三五
一一〇	金葉	冬部	二一	一一〇	金葉	冬部	二一	一一〇	金葉	冬部	二一	一一〇	金葉	冬部	二一
炭竈															
一一一	金葉	冬部	二八	一一一	金葉	冬部	二八	一一一	金葉	冬部	二八	一一一	金葉	冬部	二八
一一二	詞花	冬	一五	一一二	詞花	冬	一五	一一二	詞花	冬	一五	一一二	詞花	冬	一五
一一三	千載	冬歌	四六	一一三	千載	冬歌	四六	一一三	千載	冬歌	四六	一一三	千載	冬歌	四六
一一四	千載	冬歌	四三	一一四	千載	冬歌	四三	一一四	千載	冬歌	四三	一一四	千載	冬歌	四三
一一五	新古今	冬歌	四三	一一五	新古今	冬歌	四三	一一五	新古今	冬歌	四三	一一五	新古今	冬歌	四三
一一六	後拾遺	恋一	六六	一一六	後拾遺	恋一	六六	一一六	後拾遺	恋一	六六	一一六	後拾遺	恋一	六六
一一七	新古今	恋歌一	一〇五	一一七	新古今	恋歌一	一〇五	一一七	新古今	恋歌一	一〇五	一一七	新古今	恋歌一	一〇五
歲暮															
一一八	金葉	冬部	二九	一一八	金葉	冬部	二九	一一八	金葉	冬部	二九	一一八	金葉	冬部	二九
一一九	拾遺	雜秋	二四	一一九	拾遺	雜秋	二四	一一九	拾遺	雜秋	二四	一一九	拾遺	雜秋	二四
一二〇	金葉	冬部	三〇	一二〇	金葉	冬部	三〇	一二〇	金葉	冬部	三〇	一二〇	金葉	冬部	三〇
一二一	詞花	冬	一五	一二一	詞花	冬	一五	一二一	詞花	冬	一五	一二一	詞花	冬	一五
一二二	詞花	冬	一六	一二二	詞花	冬	一六	一二二	詞花	冬	一六	一二二	詞花	冬	一六
一二三	新古今	冬歌	六九	一二三	新古今	冬歌	六九	一二三	新古今	冬歌	六九	一二三	新古今	冬歌	六九
一二四	新古今	冬歌	六九	一二四	新古今	冬歌	六九	一二四	新古今	冬歌	六九	一二四	新古今	冬歌	六九
一二五	新古今	冬歌	六九	一二五	新古今	冬歌	六九	一二五	新古今	冬歌	六九	一二五	新古今	冬歌	六九
一二六	新古今	冬歌	六九	一二六	新古今	冬歌	六九	一二六	新古今	冬歌	六九	一二六	新古今	冬歌	六九
一二七	新古今	冬歌	七一	一二七	新古今	冬歌	七一	一二七	新古今	冬歌	七一	一二七	新古今	冬歌	七一
一二八	新古今	冬歌	七二	一二八	新古今	冬歌	七二	一二八	新古今	冬歌	七二	一二八	新古今	冬歌	七二
一二九	新古今	冬歌	七二	一二九	新古今	冬歌	七二	一二九	新古今	冬歌	七二	一二九	新古今	冬歌	七二
一三〇	新古今	冬歌	七二	一三〇	新古今	冬歌	七二	一三〇	新古今	冬歌	七二	一三〇	新古今	冬歌	七二

二〇元	新古今	冬歌	七四	二〇三	新古今	恋歌四	一三四	二〇六	拾遺	恋一	六七	二〇八	新古今	恋歌一	九一
二〇四	詞花	賀	一六	二〇五	新古今	恋歌一	二〇六	二〇七	新古今	恋歌二	一〇九四	二〇九	古今	恋歌五	七六
—— 卷第七 恋 ——															
天象		地儀		二〇五	新古今	恋歌一	二〇三	二〇七	千載	恋歌二	七八	二〇九	古今	恋歌三	六八
植物		神祇		地儀部				二〇七	後撰	恋二	六三	二〇九	古今	恋歌三	六五〇
動物		居所		二〇五	古今	恋歌一	五五	二〇七	詞花	恋上	二〇	二〇九	古今	恋歌四	七〇
天象部				二〇五	古今	恋歌五	七〇	二〇七	詞花	恋上	二〇	二〇九	古今	恋歌五	七九四
二〇一	古今	恋歌四	七三	二〇五	古今	恋歌五	七九	二〇七	後拾遺	恋四	八四	二〇九	後撰	恋一	六四七
二〇二	後撰	恋六	九六	二〇五	後撰	恋一	五〇	二〇七	後拾遺	恋四	七三	二〇九	後拾遺	恋一	六四七
二〇三	後拾遺	恋四	七九	二〇五	後撰	恋二	六七	二〇七	金葉	恋部下	四六	二〇九	千載	恋歌二	八〇七
二〇四	拾遺	恋一	六〇	二〇六	後撰	恋四	八〇	二〇七	金葉	恋部下	四九	二〇九	新古今	恋歌四	一三三
二〇五	金葉	恋部下	四三	二〇六	後撰	恋五	六六	二〇八	後撰	恋一	六三	二〇九	拾遺	恋二	七〇
二〇六	新古今	恋歌二	一〇一	二〇六	拾遺	恋一	六四	二〇八	拾遺	恋五	六三	二〇九	拾遺	恋二	七〇
二〇七	新古今	恋歌四	一三	二〇六	拾遺	恋四	八二	二〇八	後拾遺	恋四	七六	二〇九	拾遺	恋五	九七
二〇八	詞花	恋上	一八	二〇六	後拾遺	恋二	七〇	二〇八	千載	恋歌二	七〇	二〇九	拾遺	恋五	九七
二〇九	千載	恋歌一	七三	二〇六	後拾遺	恋四	七〇	二〇八	金葉	恋部上	三五	二〇九	拾遺	雜恋	一一一
二一〇	後拾遺	恋二	七八	二〇六	金葉	恋部下	五五	二〇八	古今	恋歌四	七三	二〇九	金葉	恋部下	四七九
二一一	新古今	恋歌三	一六	二〇六	新古今	恋歌二	一〇九	二〇七	古今	恋歌四	六三	二〇九	金葉	恋部下	五八

動物部

二〇三 古今 恋歌三 六四四

二〇四 拾遺 雜恋 一三〇〇

二〇五 新古今 恋歌五 一三七二

居所部

二〇六 古今 恋歌四 七四一

二〇七 千載 恋歌二 七六六

——卷第八雜上——

雜物 人事

夢 渡淚

雜物

二〇八 新古今 恋歌二 一二四三

二〇九 後撰 恋一 五五六

二一〇 千載 恋歌二 七六六

二一一 新古今 恋歌五 一四三三

二一二 後撰 恋三 七九一

二一三 後拾遺 恋三 七六三

二一四 金葉 恋部下 四四五

二一五 千載 恋歌二 七〇〇

二一六 千載 恋歌五 九〇〇

二一七 千載 恋歌四 八八〇

二一八 古今 恋歌四 六九七

二一九 拾遺 恋二 七三三

二二〇 後拾遺 恋三 七五四

二二一 金葉 恋部上 四三三

二二二 千載 恋歌一 六九九

二二三 千載 恋歌五 九〇五

二二四 古今 恋歌二 五七三

二二五 古今 恋歌二 五七六

二二六 後撰 恋二 六九一

二二七 拾遺 恋四 八九九

二二八 金葉 恋部下 五二四

二二九 新古今 恋歌一 一〇七三

二三〇 後撰 恋三 七五四

二三一 拾遺 恋四 八六五

二三二 金葉 恋部下 五〇九

二三三 古今 恋歌三 六四三

二三四 新古今 恋歌五 一四九九

二三五 詞花 恋上 三三五

人事

二二六 古今 恋歌四 六六五

二二七 古今 恋歌四 七七七

二二八 古今 恋歌一 五三〇

二二九 古今 恋歌二 六四四

二三〇 後撰 恋一 五八二

二三一 後撰 恋一 五九一

二三二 後撰 恋三 七五五

二三三 後撰 恋三 七六〇

二三四 後撰 恋六 一〇四五

二三五 後撰 恋五 九三三

二三六 後撰 恋二 六二五

二三七 後撰 恋二 六三三

二三八 後撰 恋三 七六六

二五〇 後撰 恋五 九三七

二五一 後撰 恋三 七四八

二五二 後撰 恋三 七六八

二五三 後撰 恋三 七九四

二五四 後撰 恋三 八四三

二五五 拾遺 恋一 六四三

二五六 拾遺 恋一 六七七

二五七 拾遺 恋一 六八三

二五八 拾遺 恋二 七三三

二五九 拾遺 恋二 七三四

二六〇 拾遺 恋五 九七四

二六一 拾遺 恋五 九八四

二六二 拾遺 恋五 九八五

二六三 拾遺 恋五 九八九

二六四 拾遺 恋一 六七八

二六五 拾遺 恋四 八九七

二六六 拾遺 雜賀 一一八七

二六七 拾遺 雜賀 一一八八

二六八 拾遺 雜賀 一二〇〇

二六九	拾遺	雜賀	二二九	二二八	詞花	恋下	二六六	二〇七	新古今	恋歌二	二〇九〇	二二三	拾遺	恋五	二六一
二七〇	後拾遺	恋一	六〇	二二九	千載	恋歌一	六七五	二〇八	新古今	恋歌二	二〇七	二三三	後拾遺	恋四	七九
二七一	後拾遺	恋二	六五	二九〇	千載	恋歌一	六八一	二〇九	新古今	恋歌三	二〇九	二三四	金葉	恋部下	四三
二七二	後拾遺	恋二	六四	二九一	千載	恋歌一	七〇一	二一〇	新古今	恋歌三	二一三	二三五	千載	恋歌二	七〇六
二七三	後拾遺	恋二	七三	二九二	千載	恋歌二	七二七	二一一	新古今	恋歌三	二二七	二三六	千載	恋歌二	七五七
二七四	後拾遺	恋三	七四	二九三	千載	恋歌二	七三三	二一二	新古今	恋歌五	二二四	二三七	千載	恋歌五	九三
二七五	後拾遺	恋三	七九	二九四	千載	恋歌二	七五五	二一三	新古今	恋歌五	二四四	二三八	新古今	恋歌五	二六六
二七六	後拾遺	恋四	七六	二九五	千載	恋歌四	八四五	二一四	新古今	恋歌五	二四四	二三九	新古今	恋歌五	
二七七	後拾遺	恋四	八〇	二九六	千載	恋歌四	八六一	二一五	千載	恋歌四	八七六	二四〇	後拾遺	恋四	八三三
二七八	後拾遺	恋四	八六	二九七	千載	恋歌四	八六七	二一六	千載	恋歌四	八七六	二四一	後拾遺	恋四	八三三
二七九	金葉	恋部上	三五	二九八	千載	恋歌四	八八二	二一七	千載	恋歌二	七五	二四二	後拾遺	恋四	八三三
二八〇	金葉	〔異本歌〕	七五	二九九	千載	恋歌四	九〇三	二一八	千載	恋歌二	七五	二四三	後拾遺	恋四	八三三
二八一	金葉	恋部下	四三	三〇〇	千載	恋歌五	九〇六	二一九	新古今	恋歌三	二五	二四四	後拾遺	恋四	八三三
二八二	金葉	恋部下	四七	三〇一	千載	恋歌五	九五	二二〇	新古今	恋歌五	二六四	二四五	後拾遺	恋四	八三三
二八三	金葉	恋部下	四八	三〇二	千載	恋歌五	九三	二二一	新古今	恋歌五	二六七	二四六	後拾遺	恋四	八三三
二八四	詞花	恋上	一九	三〇三	千載	恋歌五	九三	二二二	新古今	恋歌五	二六七	二四七	後拾遺	恋四	八三三
二八五	詞花	恋上	二〇	三〇四	千載	恋歌五	九五	二二三	新古今	恋歌五	二六七	二四八	後拾遺	恋四	八三三
二八六	詞花	恋上	三三	三〇五	千載	恋歌五	九五	二二四	新古今	恋歌五	二六七	二四九	後拾遺	恋四	八三三
二八七	詞花	恋下	三六	三〇六	千載	恋歌五	九五	二二五	新古今	恋歌五	二六七	二五〇	後拾遺	恋四	八三三
夢															
賀															
——卷第九 雜中——															
賀															
羈旅															
積教															
誹諧															
神祇															
賀															
後撰															
哀傷															
雜賀															
雜賀															
雜賀															
賀															
賀															
賀															

二九〇	拾遺	雜上	四四五	植物	二九〇	古今	雜歌上	九〇七	居所	二三四	古今	雜歌下	九〇一	雜物	二四一	古今	雜歌上	八六五
二九二	拾遺	雜上	四〇七		二九〇	後撰	雜一	二〇七		二三五	古今	雜歌下	九〇七		二四三	後撰	雜四	二六九
二九三	拾遺	雜上	四九〇		二九一	後撰	雜二	二五五		二三六	後撰	雜一	二〇八三		二四三	拾遺	雜上	四七八
二九四	拾遺	雜下	五三三		二九二	後撰	雜三	一三四一		二三七	後撰	雜二	二七三		二四四	千載	雜歌中	二〇七
二九五	拾遺	雜下	五五三		二九三	拾遺	雜上	四一		二三六	拾遺	雜上	四一		二四五	千載	雜歌中	二五五
二九六	拾遺	雜下	五五九		二九四	拾遺	雜上	四九一		二三元	拾遺	雜下	五九		二四六	新古今	雜歌下	二七二
二九七	後拾遺	雜二	九五六		二九五	拾遺	雜下	五〇六		二四〇	後拾遺	雜二	九〇		二四七	新古今	雜歌下	一八〇九
二九八	後拾遺	雜三	一〇三三		二九六	後拾遺	雜四	一〇五〇		二三二	千載	雜歌中	一〇八五	人事	二四八	古今	雜歌下	九三四
二九九	後拾遺	雜四	一〇五二		二九七	詞花	雜下	三六五		二三三	新古今	雜歌中	一六二六		二四八	古今	雜歌下	九三四
三〇〇	拾遺	別	三五〇		二九八	新古今	雜歌中	一六七九		二三四	新古今	雜歌中	一六二六		二四九	古今	雜歌下	九四二
三〇一	千載	雜歌上	一〇四五	動物	二九九	古今	大歌所御歌	一〇七一		二三五	新古今	雜歌中	一六六〇		二五〇	古今	雜歌下	九五六
三〇二	千載	雜歌中	一三四四		三〇〇	拾遺	雜上	四四五		二五五	新古今	雜歌中	一六七〇		二五一	古今	雜歌下	九六〇
三〇三	新古今	雜歌中	一六五五		三〇一	拾遺	雜下	五五		二五五	新古今	雜歌中	一六七〇		二五二	古今	雜歌下	九六五
三〇四	新古今	雜歌中	一六四四		三〇二	拾遺	雜下	五五		二五六	新古今	雜歌中	一六七〇		二五三	古今	雜歌下	九七七
三〇五	新古今	雜歌中	一六四四		三〇三	金葉	雜部上	五五		二五七	新古今	雜歌中	一六七〇		二五四	古今	雜歌下	九七七
三〇六	新古今	雜歌中	一六七八		三〇四	新古今	雜歌下	一八〇		二五八	新古今	雜歌中	一六七五		二五五	後撰	雜一	一〇〇三
三〇七	新古今	雜歌下	一七二二		三〇五	新古今	雜歌下	一八〇		二五九	新古今	雜歌中	一六七五		二五六	後撰	雜二	一〇〇三
三〇八	詞花	雜上	三〇二		三〇六	新古今	雜歌下	一八〇		三〇〇	新古今	雜歌下	一七五七		二五七	後撰	雜二	二〇三

三三五	後撰	雜二	二八九	三三六	後拾遺	雜三	九七四	三九五	詞花	雜下	三五六	千載	雜歌中	二二五
三三六	後撰	雜二	二九一	三三七	後拾遺	雜三	九六三	三九六	詞花	雜下	三三三	千載	雜歌中	二二六
三三五	後撰	雜二	二九三	三三八	後拾遺	雜三	一〇〇八	三九七	詞花	雜下	四〇四	千載	雜歌中	二二七
二六〇	後撰	雜二	二九四	三三九	後拾遺	雜三	一〇〇七	三九八	詞花	雜下	四〇三	千載	雜歌中	二二八
二六一	後撰	雜三	二〇〇	三六〇	後拾遺	雜三	一〇三二	三九九	詞花	雜下	四〇七	千載	雜歌下	二二九
二六二	後撰	雜三	二二三	三六一	後拾遺	雜三	一〇三二	四〇〇	詞花	雜下	四〇九	千載	雜歌下	二三〇
二六三	後撰	雜三	二四〇	三六二	後拾遺	雜部上	五五三	四〇一	千載	雜歌中	一〇七九	千載	雜歌下	二七一
二六四	後撰	雜四	二五四	三六三	後拾遺	雜部上	五五三	四〇二	千載	雜歌中	一〇八〇	千載	雜歌下	二七二
二六五	後撰	雜四	二六四	三六四	後拾遺	雜部下	六〇九	四〇三	千載	雜歌中	一〇八二	千載	雜歌下	二七三
二六六	後撰	雜四	二九〇	三六五	後拾遺	雜部下	六〇六	四〇四	千載	雜歌中	一〇八四	千載	雜歌下	二七四
二六七	拾遺	雜上	四八〇	三六六	後拾遺	雜部下	六〇六	四〇五	千載	雜歌中	一〇八四	千載	雜歌下	二七五
二六八	拾遺	雜上	五〇五	三六七	後拾遺	雜部下	六〇六	四〇六	千載	雜歌中	一〇九六	千載	雜歌下	二七六
二六九	拾遺	雜上	五〇六	三六八	後拾遺	雜部下	六〇九	四〇七	千載	雜歌中	一〇九六	千載	雜歌下	二七七
二七〇	拾遺	雜上	五〇七	三六九	後拾遺	雜部下	六〇九	四〇八	千載	雜歌中	一一〇〇	千載	雜歌下	二七八
二七二	拾遺	雜下	五〇九	三九〇	後拾遺	雜上	三二〇	四〇九	千載	雜歌中	一一〇〇	千載	雜歌下	二七九
二七三	後拾遺	雜一	八八三	三九一	後拾遺	雜上	三二〇	四一〇	千載	雜歌中	一一〇〇	千載	雜歌下	二八〇
二七三	後拾遺	雜一	八八四	三九二	後拾遺	雜上	三三三	四一一	千載	雜歌中	一一〇一	千載	雜歌下	二八一
二七四	後拾遺	雜一	八八六	三九三	後拾遺	雜上	三三三	四一二	千載	雜歌中	一一〇二	千載	雜歌下	二八二
二七五	後拾遺	雜二	九五五	三九四	後拾遺	雜上	三三三	四一三	千載	雜歌中	一一〇三	千載	雜歌下	二八三

